

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

ミッション

テクノロジーがパラダイムシフトを起こし、生活を豊かにする力を秘めていると考え、独自のテクノロジーでイノベーションを生み出し…

2 中長期の経営戦略

1. 既存事業の収益拡大

AIなど技術を活用した広告効果向上、営業体制見直しによる顧客関係強化、cookie非依存広告技術の強化、LOGLY Marketing Nexusによるサービス一体運用を推進。

3. プライバシー保護への対応

cookie使用制限など環境変化に対応し、新技術開発を進める。GoogleやAppleの動向に注視し、利用者プライバシー配慮した広告配信実現を継続。

2. 新規事業への取り組み

LOGLY Sphereをデータ・技術基盤として、BtoBのデータプラットフォーム事業とBtoCのアドプラットフォーム、SNSマーケティング事業に取り組む。

4. 高度人材の確保と育成

採用手段の多様化、教育制度整備、働きやすい職場環境づくりを推進。AIやビッグデータ活用できるエンジニア、データ解析専門家の確保が不可欠。

3 対処すべき課題

① 既存事業の収益拡大

- ・ LOGLY liftの安定成長が重要な収益基盤
- ・ 広告効果向上にAI・ビッグデータ活用
- ・ cookie規制環境への技術的対応

② 新規事業の成長支援

- ・ BtoBデータプラットフォーム、BtoCアドプラットフォーム事業展開
- ・ 大手インターネット企業との連携強化
- ・ 企業情報価値の引き出しによる新収益柱構築

③ 経営基盤の強化

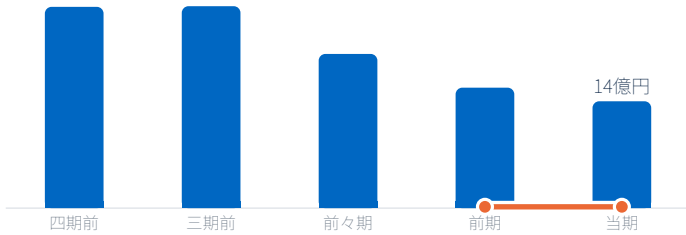
- ・ エンジニア・データ解析専門家の確保困難
- ・ インターネット広告市場規制強化への対応
- ・ 内部管理体制とコーポレート・ガバナンス充実

面接で使えるポイント

- ・ ネイティブ広告プラットフォームLOGLY liftを軸に、2024年9月リリースのウルテクなど新事業展開で市場拡大を目指…
- ・ インターネット広告市場3兆6,517億円（2024年、前年比109.6%）の成長市場において…
- ・ AI・ビッグデータを活用できるエンジニア・データ解析専門家を重視し、採用・育成・職場環境改善に注力する人材重視経営。

証券コード 6579

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
インターネット広告分野でネイティブ広告プラットフォーム事業を展開する企業

主力事業・セグメント

- ・サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
14億円

営業利益率
▲3.2%

財務健康度
22点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 31.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
543万円

サービス業内 329位/524社

平均年齢
36.2歳

サービス業内 355位/527社

平均勤続
6.7年

サービス業内 257位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ログリー(株)【6579】：決算情報

